

家棟川ビオトープ 水鳥観察会を 開催しました 🐦

令和元年11月30日(土)9時頃から、野洲市野田地先の家棟川ビオトープで水鳥観察会を開催しました。寒風が少し吹く天候の中でしたが、参加者24名とスタッフ16名の計40名での開催となりました。

ヨシの観察では、県内で取り組まれているヨシ帯の復元について水資源機構琵琶湖開発総合管理所の職員から話を聞きました。ヨシ帯は水質浄化の機能だけでなく、魚や水鳥の生息場所や産卵場所にもなっていることを教えていただきました。

また、参加者からの質問にもお答えいただきました。



水鳥の観察では、滋賀自然環境研究会から水鳥の説明をしていただいた後、望遠鏡や持参された双眼鏡を使って、湖面に浮かぶ水鳥を観察しました。15種類の野鳥に出会い、希少種のカムリリカイツブリやチョウサギなどが観察できました。また、ネイチャーゲーム中にも絶滅危機増大種のオオタカやチョウヒが確認できました。



ネイチャーゲームでは、カモフラージュやネイチャービンゴを行いました。

カモフラージュは、あらかじめ草木に設置した人工物を見つけ出すゲームで、全て見つけた参加者はいませんでしたが、皆さん真剣に覗き込みながら探されていました。

ネイチャービンゴでは、ビオトープを散策し、縦横3列のビンゴカードにある草花を探してビンゴにするゲームで、皆さんビンゴカードと草花を見比べ、頑張って揃えられておられました。全て揃えた参加者も多数おられました。





ストラップの作製

クラフトづくりでは、木材と化石を使いストラップづくりを行いました。滋賀自然環境研究会から説明を聞きながら、やすりで丁寧に時間をかけて擦り、石を貼ったストラップが完成すると笑顔で「出来たよ」と答えてくれました。

最後に全員そろっての記念撮影をした後、ビオトープ内で採れたスイバ、セイタカアワダチソウやヨモギなどの野草やNPO法人家棟川流域観光船からご提供いただいたワカサギを天ぷらにして試食しました。身近に生えている野草が食べられることに驚かれ、天ぷらを試食し「おいしい」との声も聞かれました。おにぎりを持参している参加者の方もおられ、楽しい時間を過ごしていただきました。



ストラップの作製



野草と魚の天ぷらを試食

来年度も引き続き自然観察会を予定していますので、多数のご参加お待ちしております！！



参加者全員で記念撮影



野草と魚の天ぷらを試食



野草と魚の天ぷら

家棟川ビオトープ自然観察会

主催：滋賀自然環境研究会、NPO法人家棟川流域観光船、野州市環境課、

滋賀県土木交通部流域政策局河川・港湾室、南部土木事務所

協力：独立行政法人水資源機構琵琶湖開発総合管理所